

まちづくり協議会名	逆瀬台小学校区まちづくり協議会
-----------	-----------------

地域課題	左の課題の具体的な内容
拠点施設の有効活用に伴う諸方策	<p>現状の問題点：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 拠点施設の出入り口は逆瀬台サービスセンターからであるが、門扉には暗礁番号による施錠がされておりコミュニティ会長と逆瀬台自治会長だけが開錠するのでは拠点施設運用からも実質上不可。 ② サービスセンターの2階は市民の交流広場でありながらNPOは使用できないなど使用率が悪い。 ③ 3箇所の出入り口は暗く鍵穴が分からない。 ④ 逆瀬台小学校は急な坂道の頂上にあり広域活動上、自動車が必要不可欠であるにもかかわらず駐車場がない。 ⑤ 逆瀬台小学校に行く途中の道路で、道路幅1/2は、365日24時間ガードレールで封鎖、残り1/2は夜から朝までバリケードで封鎖されている。 <p>施策概要：</p> <p>ゆずり葉コミュニティルームは平成14年11月から使用開始となった。翌月12月7日付宝塚市へ提出した『ゆずり葉コミュニティルームの有効活用に伴う施設の充実依頼について』及び平成15年12月6日付提出した地域ごとのまちづくり計画『地域のコミュニティ活動の中心となる、「ゆずり葉コミュニティルーム」を更に一層有効活用するため、周辺環境条件の充実、例えば必要最低限の駐車場新設や出入り口等の整備を行う。』と使用開始当初から早期提案をしている。</p> <p>協議・要望事項：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 逆瀬台サービスセンター門扉の鍵は、通常の鍵をつくり『ゆずり葉コミュニティ拠点施設運営規約』により運用する。 ② 逆瀬台サービスセンター2階（市民の交流広場）をNPOに使用させないのは、時代錯誤もはなはだしい。NPOの使用を認めないのならば、平成18年10月当会役員会で提案された『旧逆瀬台幼稚園施設使用者協議会(仮称)設立』を市が認め、2階部分の運営を任せるべきである。 ③ 3箇所の出入り口は、暗いので照明器具を取付ける（既存のポールや壁を利用する）。 ④ 小学校に沿った130m程の水路上（実際は水路の役割なし）にグレーチングを置くか、暗渠にして駐車場にする。 ⑤ 道路を封鎖しているガードレールやバリケードは、門扉の役割をしており、これを境界に逆瀬台サービスセンターの行き止まりまでを道路指定から学校敷地として用途変更をする。